

教育センター通信

ほど 火床の火の心を紡ぐ

第8号（通算58号）
平成30年12月27日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



瑞穂学園（月岡小学校）
英語乗り入れ授業
12月6日（木）

学級・学校に「ポジティブ鏡」を！

小中一貫教育推進課 指導主事 田村和弘

新年と3学期を迎える時期となりました。3学期は締めくくりと同時にスタートの時期であります。子どもたちには「このクラスでよかった！この学校でよかった！」と1年が終わったあと、または卒業するときを感じてもらいたいものです。そのため、3学期は大変重要な時期といえます。

これから約3ヶ月間は締めくくりやバトンタッチの場面が多く設定されます。1～9年間一緒に過ごした仲間やお世話になった人々への感謝の気持ちを表したり、自分の成長を振り返ったりする活動が多くなります。これらの活動は子どもたちの成長にとって大きな意味をもちます。他者から感謝をされることは自己有用感（他者に役に立つ存在であるという感覚）を高めます。自分の成長を振り返ることはメタ認知能力（自分を俯瞰してみる力）を高めます。自己有用感や社会性を高めることに、メタ認知能力は学力を高めたり、学習意欲を維持したりすることに影響する力とされています。

これらの活動が成功し、「このクラスでよかった！この学校でよかった！」と感じるには子どもたちに「他人のよさに気付く目が育っていること」、「お互いのよさを伝える活動が日常的に行われていること」が大切です。発達心理学の権威、新井邦二郎先生の言葉を借りると、お互いがよさを写し合う「ポジティブ鏡」になっていることがポイントです。

「ポジティブ鏡」が学級・学校にたくさんあることが子どもたちの社会性や学力、学習意欲を高めます。まずは先生方自身が最大の「ポジティブ鏡」になって、3学期をスタートして欲しいです。

学園の取組紹介 ～学校保健委員会～

三条嵐南学園



11月16日（金）に三条嵐南学園では、学校保健委員会を開催しました。児童生徒代表による「三条嵐南学園の児童生徒の睡眠の実態」、三条市健康づくり課管理栄養士による「血液検査から見える健康と生活習慣の関わり」について発表がありました。

それらの報告を受け、「睡眠時間を確保するためにできること」についてのグループ討議を学校、保護者、児童生徒で行いました。

第一中学校の校医渡辺俊明先生からは、深い眠り（ノンレム睡眠）と浅い眠り（レム睡眠）の繰り返しが脳と体の休息、成長、記憶の整理につながっていること、きちんとした睡眠習慣が大事であると御指導いただきました。

11月14日（水）裏館小学校、上林小学校、第三中学校の保健委員会（総勢37名）が集まり、より良い睡眠習慣のためにできることについて話し合いを行いました。

事前のアンケート結果から見えてくる三条学園の実態から、十分な睡眠時間を確保するためにはメディアとの付き合い方が鍵であるとの結論に至り、改善に向けたアイデアを出し合いました。指導主事の話を参考にしたり、保護者や教職員と意見を交わしたりしながら、各校の全校児童生徒に何を伝えていくべきかをまとめました。



早寝早起き朝ごはん川柳（第三中学校）

1年生優秀作品

2年生優秀作品

3年生優秀作品

<p>優秀賞 早起きは しっかり起きよう 自分でね さん</p>	<p>優秀賞 早寝して 良い夢見ろよ 三中生 さん</p>	<p>優秀賞 早く起き 余裕の身したく 遅刻0! さん</p>	<p>最優秀賞 早寝をし 早く起きたら 頑張れる! さん</p>	<p>優秀賞 早起きを しないと頭 回らない さん</p>	<p>優秀賞 朝ごはん かあさんの愛 こもってる さん</p>	<p>優秀賞 早起きで 一日スタート 気持ちよく ハさん</p>	<p>最優秀賞 寝坊した ハッと驚き 朝練へ さん</p>	<p>優秀賞 朝ごはん 食べたらいいこと あるかもね さん</p>	<p>優秀賞 遅寝して 授業で寝てたら 悪循環 さん</p>	<p>優秀賞 朝ごはん 抜いたら4限 地獄見る さん</p>	<p>最優秀賞 早寝はね 損はないけど 得はある さん</p>
----------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------------	----------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------------	----------------------------------------------	-------------------------------------------	-----------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------------

学園の取組紹介～いじめ見逃しゼロ～

大崎学園

「夢づくり絆づくり集会」

大崎学園では、全校でいじめ見逃しゼロスクールを推進するために、11月22日（木）に「夢づくり絆づくり集会」を開催しました。義務教育学校の特徴を生かし、1年生から9年生までの児童生徒が一堂に会して活動する会でした。

集会では、全校の一体感を高め、所属意識や連帯感を実感してもらうことをねらい、生徒会が全校ダンスを企画しました。1年、2年生の前期課程の子どもたちにも楽しんで踊ってもらおうと、9年生の代表が、振付を教えながら準備を進めました。ダンスは、体育祭で後期課程の生徒が踊ったものをベースにしています。前期課程の子どもたちの「かっこいい」「すてき」「僕たちも踊りたい」という声に、生徒会が応え実現させたものです。当日の集会では、「♪カ～モン・ベイビー～・アメリカ」の音が体育館にこだまし、全校の連帯感が一気に高まりました。



四つ葉学園

「深めよう絆スクール集会」

11月22日(木)

「“ありがとう”は人と人をつなぐ言葉です。」第四中学校の発表にあった言葉です。感謝の気持ちを言葉にしていくことを皆で確認しました。

各小学校からも“いじめ根絶”に向けた取組についての発表がありました。また、生徒会が主導した交流活動を通して、児童生徒の絆が一層深まりました。

この日の夕方に小中一貫教育推進協議会が開催されました。その中で、星学園長より来年度から実施するコミュニティ・スクールについての説明がありました。その後、参加者は小グループに分かれ、コミュニティ・スクールについて考えを深めました。来年度の実施に向けて動き出しています。



ウィンター・フェスティバル

12月6日にウィンター・フェスティバルが三条市総合福祉センターで開催されました。三条市内の特別支援学級の児童生徒、新潟中央短期大学の学生、手をつなぐ育成会、ライオンズクラブの皆さんも一緒に参加しました。

司会進行や整列は中学1～3年生（大崎学園 7年生～9年生）が行いました。十分な練習を積んだ司会者は、本番で堂々と進行をすることができました。整列係も立派に自分の役割を果たしていました。みんなの良いお手本となっていました。

名刺交換はそれぞれが手作りの名刺をもち、たくさんの友達と交換しました。恥ずかしがっている子、積極的に名刺を渡す子、どの子もたくさんの友達ができたとようです。新潟中央短期大学の学生さんと一緒にダンスで楽しく踊った後、サンタさんからクリスマスプレゼントをもらいました。

子どもたちは、サンタさんが来ると大喜び！「プレゼントは何だろう」と嬉しそうに袋を開けていました。短い時間でしたが、楽しいひと時を過ごしました。



Winter Festival

子どもたち手づくりのプログラム



何が入っているかな？



サンタさん登場！



サンタさんありがとう！

